



## 2024年9月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2024年8月9日

上場会社名 株式会社 アルファクス・フード・システム

上場取引所 東

コード番号 3814 URL <https://www.afs.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 藤井 由実子

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員

(氏名) 菊本 健司

TEL 0836-39-5151

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年9月期第3四半期の業績(2023年10月1日～2024年6月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第3四半期	1,167	4.9	16	67.4	25	37.6	17	87.0
2023年9月期第3四半期	1,227	26.4	51		40		136	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第3四半期	4.54	
2023年9月期第3四半期	39.85	

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年9月期第3四半期	1,376	30	2.1	7.38
2023年9月期	1,577	13	0.7	2.79

(参考)自己資本 2024年9月期第3四半期 28百万円 2023年9月期 10百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期		0.00		0.00	0.00
2024年9月期		0.00			
2024年9月期(予想)				0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年9月期の業績予想(2023年10月1日～2024年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,000	12.3	120	111.5	160	388.4	88	15.4	22.60

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年9月期3Q	3,979,100 株	2023年9月期	3,979,100 株
期末自己株式数	2024年9月期3Q	50,364 株	2023年9月期	50,364 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年9月期3Q	3,928,736 株	2023年9月期3Q	3,435,489 株

添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料] 3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第3四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	7
(収益認識関係) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間(2023年10月1日～2024年6月30日)におけるわが国経済は、経済活動の正常化が進み、個人の消費回復やインバウンド需要の高まりによって緩やかな回復基調が続いております。一方で、不安定な国際情勢の長期化や常態化する円安の影響により、原材料価格やエネルギーコストの高騰、それに伴う物価上昇が慢性化しており、依然として先行き不透明な状況が続いております

このような環境のもと、当社は創業時より一貫し、外食企業を中心とした顧客に対し「情報システムインフラ企業」として、利益追求のための食材ロス削減を実現する「飲食店経営管理システム(R)」、人件費の最適化や生産性を高めるための勤怠集計管理システム「Timely」を主力に「食材費」・「人件費」の二大原価の透明化をパッケージシステムとクラウド型、ハイブリッドクラウド型で提供するとともに、業界に特化したPOSシステム、オーダーリングシステム、配膳ロボットなどの周辺サービス等を通してトータルソリューションシステムを提供しております。

当第3四半期累計期間の当社主要顧客の外食市場におきましても、人流の回復や円安によるインバウンド需要の拡大により回復傾向にあるものの、原材料価格や光熱費などの高騰に加え、賃上げや労働力不足解消のための人件費、求人費の上昇などにより、厳しい経営環境が続いております。このような状況において、当社手元資金内においての前払いのロボット買い付けの遅れにより、大型案件が失注したことなどの影響とシステム投資控えにより、売上高1,167,583千円(前年同四半期比4.9%減)、システム機器の原価高騰により営業利益16,776千円(前年同四半期比67.4%減)、経常利益25,107千円(前年同四半期比37.6%減)、四半期純利益17,863千円(前年同四半期比87.0%減)となりました。

事業部門別の経営成績は、以下のとおりであります。

当社は、ASPサービス事業を単一セグメントとしておりますが、ASPサービス事業を核として、顧客である飲食店舗にASP/パッケージシステム事業、システム機器事業、周辺サービス事業を一体として提供しております。

また、前事業年度までシステム機器事業に含んでいたコロナ禍対策製品関連事業の売上は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことによりコロナ禍対策製品としての計上を中止し、省人化・省力化対策製品として事業部門を見直したことにより、第1四半期会計期間から周辺サービス事業に売上を計上しております。

#### ①ASP/パッケージシステム事業

当事業におきましては、新規、既存顧客へ「飲食店経営管理システム(R)」「自動発注システム」等のソフトウェアなどの販売および月額サービスの提供拡大を行いました。当該顧客のソフトウェア投資控えもあり、売上高は527,593千円(前年同四半期比20.5%減)となりました。

なお、月額サービス料は、コロナ禍の影響による価格調整や閉店もあり、9ヶ月累計で515,331千円(前年同四半期比1.6%減)となりました。

#### ②システム機器事業

当事業におきましては、従来からのPOSシステム、オーダーエントリーシステム及びテーブルオーダーリングシステムの販売において、半導体不足などの影響で遅れていた納品が再開したこと、新規、既存顧客ともに導入店舗が増加しており、売上高は503,358千円(前年同四半期比0.6%増)となりました。

#### ③周辺サービス事業

当事業におきましては、保守インテグレーション、サプライ製品に加えて、配膳ロボット、掃除ロボット、案内ロボットなどのAIロボットの売上を当事業計上にしたため大きく増収しており、売上高は136,631千円(前年同四半期比325.9%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は1,376,358千円となり、前事業年度末に比べ200,937千円減少いたしました。これは主に、売掛金214,522千円、建物8,642千円の減少などによるものであります。

負債合計は1,345,854千円となり、前事業年度末に比べ218,077千円減少いたしました。これは主に、長期借入金81,009千円、未払消費税等43,651千円の減少などによるものであります。

純資産は30,504千円となり、前事業年度末に比べ17,140千円増加いたしました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

外食市場につきましては、回復傾向にあるものの、原材料価格や光熱費などの高騰に加え、賃上げや労働力不足解消のための人件費、求人費の上昇などの影響を受けており、引き続き厳しい状況で推移するとみられます。

そのような環境のなか、当社既存顧客の省力化、省人化に寄与するシステムや配膳ロボット及び水平展開を手がけている配送、掃除ロボットの販売強化をはかり、利益の確保に努めてまいります。

業績予想に対して進捗率が低い要因は、補助金活用による販売推進を見込んでいた配膳ロボットの申請や登録が遅れているもので、第4四半期におけるリカバリー余地は十分にあると判断し、現時点において、2024年9月期の通期業績予想につきましては、2023年11月13日に公表いたしました「2023年9月期決算短信〔日本基準〕（非連結）」に記載した内容から変更はありません。

なお、今後業績予想に修正の必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年9月30日)	当第3四半期会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	118,188	121,780
売掛金	311,087	96,564
商品	290,469	317,426
貯蔵品	8,260	4,805
前渡金	605	—
前払費用	29,891	21,275
短期貸付金	16,200	16,200
未収入金	45,943	45,936
その他	3,625	13,882
貸倒引当金	△85,764	△69,858
流動資産合計	738,508	568,012
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	285,893	277,250
構築物（純額）	9,163	8,000
工具、器具及び備品（純額）	31,704	26,524
土地	58,660	58,660
リース資産（純額）	6,282	1,522
有形固定資産合計	391,704	371,958
無形固定資産		
ソフトウェア	219,443	221,183
ソフトウェア仮勘定	23,595	18,128
電話加入権	2,445	2,445
特許権	115	46
無形固定資産合計	245,600	241,803
投資その他の資産		
投資有価証券	619	859
長期前払費用	134,303	132,053
敷金及び保証金	58,425	54,280
長期未収入金	122,619	122,536
関係会社株式	0	0
その他	6,010	6,010
貸倒引当金	△122,619	△122,536
投資その他の資産合計	199,358	193,204
固定資産合計	836,663	806,966
繰延資産		
社債発行費	2,123	1,379
繰延資産合計	2,123	1,379
資産合計	1,577,296	1,376,358

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年9月30日)	当第3四半期会計期間 (2024年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	44,885	25,732
短期借入金	336,634	359,958
1年内償還予定の社債	41,500	21,000
1年内返済予定の長期借入金	126,754	112,171
リース債務	6,685	1,775
未払金	21,854	24,397
未払費用	7,045	7,639
未払法人税等	16,569	10,459
未払消費税等	50,074	6,422
預り金	16,143	6,768
前受金	85,985	62,166
流動負債合計	754,131	638,489
固定負債		
社債	45,000	34,500
長期借入金	732,485	651,476
リース債務	1,985	654
退職給付引当金	28,130	18,534
資産除去債務	2,200	2,200
固定負債合計	809,801	707,364
負債合計	1,563,932	1,345,854
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	905,311	905,311
資本剰余金	695,172	695,172
利益剰余金	△1,551,852	△1,533,988
自己株式	△37,904	△37,904
株主資本合計	10,727	28,591
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	236	403
評価・換算差額等合計	236	403
新株予約権	2,400	1,510
純資産合計	13,363	30,504
負債純資産合計	1,577,296	1,376,358

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
売上高	1,227,822	1,167,583
売上原価	656,267	719,943
売上総利益	571,555	447,639
販売費及び一般管理費	520,095	430,862
営業利益	51,459	16,776
営業外収益		
受取利息	30	17
受取保険金	—	17,405
助成金収入	2,639	—
その他	5,848	3,771
営業外収益合計	8,517	21,193
営業外費用		
支払利息	10,020	9,791
支払保証料	1,015	1,041
支払補償費	1,080	514
支払手数料	750	266
株式交付費	4,436	—
その他	2,460	1,248
営業外費用合計	19,763	12,863
経常利益	40,213	25,107
特別利益		
固定資産売却益	131,690	—
特別利益合計	131,690	—
特別損失		
減損損失	6,711	—
土地売却損	22,177	—
固定資産売却損	—	1,201
特別損失合計	28,888	1,201
税引前四半期純利益	143,015	23,905
法人税、住民税及び事業税	6,114	6,114
法人税等調整額	△27	△73
法人税等合計	6,087	6,041
四半期純利益	136,927	17,863

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)

「II 当第3四半期累計期間 (報告セグメントの変更等に関する事項)」に記載のとおりであります。

II 当第3四半期累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)

当社は「ASPサービス事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

当社は従来、「ASPサービス事業」・「ホテル関連事業」の2事業を報告セグメントとしておりましたが、第1四半期会計期間より「ASPサービス事業」の単一セグメントに変更しております。

この変更は、ホテルを売却したことで、「ホテル関連事業」の売上高及び利益の重要性が乏しくなり、また、当社の事業展開、経営資源配分、経営管理体制の実態などの観点から、「ASPサービス事業」を一体的な事業と捉えることが合理的であると判断したことによるものであります。

この変更により、前第3四半期累計期間及び当第3四半期累計期間のセグメント情報の記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費 (のれんを除く無形固定資産にかかる償却費を含む。) は次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	120,665千円	151,630千円

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第3四半期累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)

(単位: 千円)

	報告セグメント		合計
	ASPサービス事業	ホテル関連事業	
ソフトウェアの販売	215,332	—	215,332
ASP初期導入サービス	10,202	—	10,202
利用料等の月額サービス	529,739	—	529,739
飲食店向けシステム関連機器の販売	288,814	—	288,814
その他の機器の直接販売	120,202	—	120,202
宿泊等のホテル及び飲食事業関連サービス	—	31,699	31,699
その他 (注)	31,830	—	31,830
顧客との契約から生じる収益	1,196,122	31,699	1,227,822
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	1,196,122	31,699	1,227,822

(注) 「その他」の区分は、サプライ品、機器修理費用を含んでおります。

当第3四半期累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)

(単位: 千円)

	報告セグメント (注1)	合計
	ASPサービス事業	
ソフトウェアの販売	77,404	77,404
ASP初期導入サービス	20,083	20,083
利用料等の月額サービス	520,933	520,933
飲食店向けシステム関連機器の販売	412,529	412,529
その他の機器の直接販売	97,550	97,550
その他 (注2)	39,081	39,081
顧客との契約から生じる収益	1,167,583	1,167,583
その他の収益	—	—
外部顧客への売上高	1,167,583	1,167,583

(注1) 当社は、これまで、報告セグメントの「ASPサービス事業」及び「ホテル関連事業」の2つにセグメントに区分しておりましたが、前事業年度に「ホテル関連事業」に含まれておりましたホテル事業の事業譲渡を行ったことにより、第1四半期会計期間より「ASPサービス事業」の単一セグメントに変更しております。

(注2) 「その他」の区分は、サプライ品、機器修理費用を含んでおります。